



子ども虐待防止オレンジリボン運動

あなたが
生まれてくる社会は
あたたかい



こども宅食 赤ちゃん便 おむつ募金

設置期間：11月20日(木)～12月26日(金)

設置場所：溝上薬局（本店・コムボックス佐賀駅前店・エスプラッツ店・空港通り店）
MIZ（イオンモール佐賀大和店・モラージュ佐賀店・ゆめタウン佐賀店）

「こども宅食 赤ちゃん便」とは

こども宅食赤ちゃん便は、産前産後に何らかの心配や課題を抱えた家庭に訪問し、おむつやミルクといったベビー用品や、食品・日用品などを届け、会話をしながら相談援助を行うことで、つながりを生み出す活動です。

孤立出産や
0歳0か月乳児の虐待死を予防する

出産後の親子の
生活のたて直しをサポートをする

おむつ募金

ご協力により集まった募金は、おむつを中心とする、ベビー用品（おむつの他、ミルクや離乳食、おしり拭きなど）の購入費用に活用させていただき、こども支援団体を通じて、佐賀県内の支援が必要なお母さんと赤ちゃんに届けられます。
あたたかいご支援をお願いいたします。



一般社団法人こども宅食応援団

「こども宅食 赤ちゃん便」の取り組み

私がお母さんじゃなければ ...

妊娠・出産期は、精神的にも身体的にもバランスが崩れやすく辛い時期です。経済的にも困窮し「ミルク・オムツが買えない」など、不安を一人で抱えて日々を過ごすお母さんも少なくありません。

「私がお母さんじゃなければ」と申し訳なさや罪悪感で日々の暮らしが成り立たない、そんな状況も起こりえるのです。

親子の課題が複雑化するその前に、つながり、みまもることができるのか。大きな課題となっています。



訪問して安心を届ける

「こども宅食 赤ちゃん便」が大切にしていることは、品物を届けるだけでなく、生活に必要なサポートや困りごとを一緒に解決していこうと親子に寄り添うことです。

つながり交流を重ねるなかで「この人になら相談したい」「助けてほしい」と思える信頼関係が育まれ、課題解決に向け一緒に考えていくことができるようになります。

誰にも相談できずにひとりで困っている親子に寄り添い、つながることで、孤立感がやわらぎ、安心して妊娠・出産・育児に臨むことができるようになります。



こども宅食 赤ちゃん便の「3つのアクション」

ステップ1

心配のある親子にとどける

ステップ2

心配のある親子とつながる

ステップ3

地域の社会資源につなげる

「出産おめでとう」

新しい命の誕生を喜べる環境づくりを応援したい

佐賀県でのトライアル事業からスタートした「こども宅食 赤ちゃん便」は、全国の実施団体の皆さんの元へ思いをつなぎ、地域・行政・企業からの理解と協力がひろがり、多様なサポートが実施されつつあります。

「妊娠期からつながることができれば、孤立出産・育児はふせぐことができる」

こども宅食応援団は、親子とつながり見守る「こども宅食 赤ちゃん便」を、佐賀県から全国に広げていきます。



こども宅食応援団は「赤ちゃん便」をはじめ、様々なこどもへの支援を行っています
これらの活動は、ふるさと納税で応援いただくことができます

ふるさと納税を活用すると、ご自身の負担額は2,000円で、数万円～数十万円の寄付ができます。
佐賀県民の方もふるさと納税の仕組みを活用して、全国のこどもたちへの支援に参画いただくことができます

お申し込みは
こちら



団体概要



一般社団法人こども宅食応援団

問い合わせ先：✉ info@hiromare-takushoku.jp